レース報告

[1]大会名　第４回トライアスロンエイジ日本選手権

[2]開催日　2023 年 10 月 29 日(日)　スタート 8:06(年代別ウエーブスタート方式)

[3]開催地　宮崎市シーガイヤ

[4]競技情報　スタンダードディスタンス

スイム1.5km（750m×2)、バイク40km（20 km×2)、ラン10km（2.5km×4）

[5]大会結果　総合 66 位　年代別 5 位

【感想と想い】

2023 年、今シーズン最後のレース！このレースでシーズンランキングが確定します。大会もランキング上位者のみの年代別最高峰の選手たちが集結し、最高レベルのレースとなります。我々もこの日ですべてを決める場として 4 月からのシーズンを積み上げていくのですが、今シーズンは 5 月に捻挫をしてからアキレス腱炎まで発症しもどかしいシーズンとなりました。その中でも「できることを！」と自分を律してきました。苦しくもがいているときこそ出会いがあるもので、再生医療の世界から声をかけていただくことになり、日本選手権直前にアキレス腱炎が急速に治りだしました。【再生医療＝血液を採取し血小板を 3 週間で培養しフリーズドライ(粉末)で返却後、生理食塩水で溶かして患部に戻す＝セルソース株式会社】これでいけると確信めいていました。結果はバイク終了時ではランによっては！といった展開でしたが、ランに入って急激な呼吸の変化に体が対応できなく減速。結果から今までの日本選手権でとったことがない成績となりました。無念よりも「なんか悔しい！」が正直なところです。今シーズンのランの積み上げなくしてカタチになるわけはなかったのですが、この気持ちは「自分はこんなもんじゃない」と湧き出るものがあるからだと思います。この気持ちを感じたことが今回の敗北を経験して得ることができたのです。また強くなれると思います。これはこの気持ちが心に居座り、行動に変化をもたらす力になるからです。すでに来春からのシーズンへ向けて計画が始まりました。いつの間にか省いてしまったトレーニングメニューを見直し取り入れています。自分の特性を生かせるレースを選ぶことも考えています。人や社会に影響を与える生き方を目指していきますので、今後ともご支援と応援をよろしくお願いします。

またメンタルトレーナー的な研修や講演会が続きます。人は言葉に支配されていますので、その言葉を発信しています。是非御社スタッフの皆様にも伝えさせていただければとも思います。ご縁を作ってくださるときにはご一報ください。

世界一へ向けて進んでいきます！

今シーズン踏ん張れたのは、これを送る皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

夢追い人　プロマインドトライアスリート　福元テツロー


JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIPS MIYAZAKI


JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIPS MIYAZAKI
TAKAHASHI
JPN
214
222
221
181
FLEX




JAPAN
AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIPS
MIYAZAKI
PEUGEOT




PEUGEOT
211




PEUGEOT
PINK lon
MEDAL


仙台銘板
PEUGEOT
ダスキン福山
FLOWERS
SMITH
203
PINK lon
MEDAL
Champion System